

会員各位（人事・研修担当責任者殿）

一般社団法人 全国住宅産業協会
組織委員長 小山浩志

管理職のためのコンプライアンス研修の開催について

当協会では階層別・職種別に体系化したオリジナル研修を開発し、実施しておりますが、このたび、主に管理職の方を対象に、リスク管理の観点から見たコンプライアンスの最新知識の習得を目的とした研修を開催いたします。

本研修では、講師によるコンプライアンスの最新動向の解説も行いつつ、昨今の不祥事事例の背景やその本質について、参加者同士の意見交換も行い、理解を深めます。

単なる法令遵守から企業倫理の遵守、社会の信頼へと変化するコンプライアンスのポイントを、管理職の立場で確認する良い機会になると考えております。

つきましては、貴社内で対象となる方にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和元年5月23日（木） 14:00～17:30
2. 対象者・目的 管理職としてコンプライアンスの最新知識とリスクマネジメント能力を身に付ける。
（管理職に準じた職位で部下が複数名いる方や経営管理部門のスタッフとして働いている方なども含みます）
※詳しくは別紙ご参照ください。
3. 会 場 全水道会館 4階「中会議室」 東京都文京区本郷1-4-1
URL <http://www.mizujoho.com/>
4. 定 員 25名（定員になり次第締め切ります）
5. 講 師 北田 琢郎氏（株式会社 ブラックス 代表取締役会長）
株式会社日本能率協会マネジメントセンター パートナー講師
6. 参加費 3,000円（消費税込み）
回数券使用の場合 1人1枚
（全住協研修コースの「中堅コース」「管理職コース」「宅建受験対策コース」申込者は無料）
後日、連絡担当者宛に請求させていただきます。
※締切日以降の取消しや人数変更、当日不参加の場合も参加費を申し受けますので、ご了承ください。
7. 申込み 5月17日（火）までに、FAX（03-3511-0616）又は
E-mail (m_omiya@post.sannet.ne.jp)にてお申込みください。
※平成31年度全住協各研修コースの受講者の方は、「参加申込票」の各コース申込者欄に○印をご記入の上、お申込みください。
※回数券を使用される方は「参加申込票」の回数券使用欄に○印をご記入の上、お申込みください。
全住協研修コースの詳細は、別添又は協会ホームページから「平成31年度全住協研修コース並びに回数券の申込みについて」をご参照ください。
URL http://www.zenjukyo.jp/new_info/entry.php?id=9769
8. 問合せ先 TEL 03-3511-0611 担当 大宮 以上

「管理職のためのコンプライアンス研修」 参加申込票

E-mail m_omiya@post.sannet.ne.jp

FAX 03-3511-0616

(担当 大宮)

連絡担当者	フリガナ		電話番号	
	会社名		E-mail FAX番号	
	フリガナ		所属部課	
	氏名		役職	

<研修参加者>

氏名	所属・役職	コース受講者	回数券 使用
		中堅・管理職・宅建 ^{注1}	
		中堅・管理職・宅建	
		中堅・管理職・宅建	
		中堅・管理職・宅建	

※注1：宅建受験対策コース

※各研修コースの受講者は、該当するコースに○をつけてください。

※回数券使用の方は、回数券使用欄に○をつけてください。

※人事・研修担当者の方がオブザーバー参加を希望する場合は、下記にご記入ください。

氏名	所属・役職

別紙 管理職のためのコンプライアンス研修概要

コンプライアンスと聞くと、「法令遵守」という言葉がすぐ思い浮かびます。そして昨今では、そこに企業倫理という側面も強調されるようになってきていますが、これを管理職の立場から見ると、「リスクマネジメント」という重要な役割が伴います。

また、これらのリスクを避けるために企業が持つ様々な社内ルール（秘密管理規定、業務マニュアルなど）の徹底も管理職の責任の一部です。

この研修では、コンプライアンスの最新知識のみならず、このような管理職としてのリスクマネジメントの側面まで、幅広く取り扱います。

通常、コンプライアンス研修というと無味乾燥なものを思い浮かべる方も多いと思いますが、講師の軽妙な語り口と、具体的な企業不祥事のケース、事例を主に活用しながら参加者の皆さんの実践的理解を図ります。

<目的>

- ・コンプライアンスを経営上のリスク管理の側面から理解する

<期待できる成果>

- ・コンプライアンスの最新知識から経営リスク管理レベルまでの知識を習得できる

<学習項目>

- ・コンプライアンスとは何か
- ・経営リスクとコンプライアンス
- ・コンプライアンス経営の実現

<主なケース検討事例>

- ・公私混同
- ・個人情報管理
- ・健康配慮義務
- ・ハラスメント
- ・人権問題
- ・企業犯罪

○オブザーブについて：特に以下のようなことをお考えの人事・研修等のご担当者は是非見学にお越し下さい。

- ・次回研修参加検討のための内容確認
- ・別日程で自社の社員向けに実施して欲しい（講師派遣）
- ・本研修を人事ご担当者などが講師役として内部実施したい場合（内製化）